

Girls Meet STEM in TOKYO 「女子中高生向けオフィスツアー」 & 「記者発表会」 実施レポート

東京都では、STEM分野での女性活躍を推進するため、女子中高生向けのオフィスツアーを実施しています。

2025年夏、今年度の第1弾として、東京都は行政のデジタル化を進める東京都の政策連携団体である一般財団法人GovTech東京でのオフィスツアーを実施しました。品川女子学院高等部の学生23名を迎え、生成AIを活用したデモ体験や、女性職員によるパネルディスカッションなどを行いました。

小池知事が生徒たちの質問に答え、自身の経験を踏まえ、未来を切り拓くためのヒントやエールを送りました。

また、記者発表会も同時開催し、今年度のオフィスツアーについて、女子中高生の理系進学を支援する、公益財団法人山田進太郎D&I財団と連携し、昨年度の12社から大幅に拡充し、50社以上でオフィスツアーを実施することを発表しました。



▼行政のデジタル化を進めるGovTech東京にてオフィスツアーを実施！

GovTech東京のオフィス内において、
生成AIを活用してニュース記事からXの投稿文を作成するアプリのデモンストレーション
体験や、東京都のSTEM分野やGovTech東京で働く、女性職員とのパネルディスカッションを実施しました。

デモ体験や女性職員との交流を通じて、実際にテクノロジー分野で働く職員から、仕事の内容やアドバイス、働き方などについて話を聞き、さまざまなことを学びました。



▼オフィスツアー終盤に小池知事も登場！

参加した女子高校生との意見交換を行い、エールを送りました。

オフィスツアーの終盤に小池知事が登場し、参加した女子高校生との意見交換を行いました。

●高校3年生

「私たち高校生は文理選択をしなければなりません。実際になりたい職業と研究したい内容が必ずしも合致するとは限らないのですが、どのように行動していけば、選んだ選択に後悔が無いかを教えていただきたいです。」

●小池知事

「文系、理系をはっきり決めてしまうのが、日本の空気だと思うが、実際の生活の中では、文系も理系もお互いに響き合って答えを出すことが多いです。大学生活だけでなく、その後を考えると自分の好きなこと、それが一番の選択肢になると思います。」



●高校2年生

「女子校にいるのでリーダーや責任者を女性がやるのが当たり前の環境にいますが、社会では女性が管理職に就くことは少ないと耳にします。女性の社会進出について考えを聞かせていただきたいです。」

●小池知事

「東京も人で成り立っており、その人の半分以上が女性であり、教育で培った様々な学びを社会で活かさない手はないと思います。素晴らしい女性の力を活かすことで企業にとっても好循環が生まれると思います。女性がリーダーになることが当たり前の社会にみんなできていきましょう。」



●高校1年生

「私は高校1年生で将来についてはっきりと決まっていなかったため、たくさんのことに挑戦したいと考えています。そこで小池都知事が学生時代にやっていたよかったと思うことを教えてください。」

●小池知事

「学生時代には英語のクラブ活動で英語劇や脚本等いろいろなことにチャレンジし、自分の好きなことを思い切りやりました。失敗したこともいい思い出です。あまり周りを気にせず思いっきりチャレンジして、挑戦した数だけ自分の糧になると思って頑張ってください。」



▼参加した学生の声

●元々STEM分野に興味はありましたが、オフィスツアーに参加する前は、この分野は男性のエンジニアが多いイメージがありました。実際にオフィスを見たり、職員の方のお話を伺うと、女性の管理職の方もいると聞き、女性活躍という面で印象が変わりました。

●将来の仕事と興味のある学問が違うことが悩みでしたが、将来の仕事にとらわれず興味のあるもので、文理選択を考えることで、最終的には将来につながる人が多いというお話を伺えたので、考えに縛られず悩みながら選択していきたいと思いました。

●自身は理系を選択していますが、社会に出たら文系、理系にとらわれず色々な方とコミュニケーションをとることが大事だと感じました。今回のオフィスツアーに参加し、自分の視野も広がりました。理系分野へ進みたい気持ちが強まりました。



▼オフィスツアーと同時に記者発表会を開催！ 女性活躍推進に関する事業概要の説明を行いました。

<Girls Meet STEM in TOKYO」主催者メッセージ>

記者発表会の冒頭に、東京都の松本明子副知事と（公財）山田進太郎D&I財団の山田進太郎代表理事よりメッセージがありました。

●東京都 松本明子副知事

「誰もが自らの人生を性別にとらわれることなく選択できる社会を目指し、さまざまな女性活躍推進の取組を進めています。STEM分野で活躍する日本人の女性はまだまだ少なく、OECDの加盟38か国中最下位です。こうした状況を打開するため、東京都では3年前からこのオフィスツアーという事業を開催しており、今年度は50社以上の企業に参画をいただき、規模を拡充しております。

東京都での女性活躍の合言葉「Women in Action」、女性活躍の輪（WA）をいろいろな団体、企業様と力を合わせて、東京から日本全体に広げていきたいと考えており、今日のプログラムを通じて、女子学生の皆さんが様々な新しい発見をして、輝かしい未来を切り開いていくことを心から願っております。」



●（公財）山田進太郎D&I財団 山田進太郎代表理事

「Girls Meet STEM in TOKYOは、都内の中高生女子がSTEM領域の仕事や働く方に出会うきっかけを届けるプログラムです。将来の進路を選ぶ前に、社会にあるいろいろな仕事を知って、自分の好きや興味を育む、そのきっかけとなる場を目指しております。

この取り組みは、東京都と財団がそれぞれの強みを活かして協力することで実現しました。東京で実現した自治体との協力モデルを第1号としまして、全国にも広げ、より多くの中高生女子にSTEM領域の仕事に触れる機会を届けていきたいと考えております。」



＜事業説明＞

東京都及び（公財）山田進太郎D&I財団より事業概要の説明を実施。
（一部抜粋。）

●東京都 事業概要

・東京都が高校生1万人に調査した結果では、約4割が「性別で教科の得意不得意があると思う」と回答しており、その傾向は小学生の段階でも見られています。高校生の男女では特に女性で、「理系は男性が得意」、「文系は女性が得意」という回答が目立っています。女性により教科に対するバイアスが大きいことが分かりました。

現在、多くの企業で課題となっていますSTEM分野の女性人材が不足する背景として、そもそも大学でSTEM分野の学部を専攻する女子の割合が少ないこと、また高校の文理選択の段階で理系を選ぶ女子の割合が低いことといった課題があります。

女子学生の数学、理科の学力は世界トップクラスですので、能力が低いから理系に進学しないのではなく、理系分野への進学後、また就職後のイメージが持ちにくいこと、そしてSTEM分野で活躍する女性ロールモデルに触れる機会がないことなどが、理系は男子といった先入観につながり、女子学生の理系選択が進んでいない大きな要因と考えています。

・こうした現状を変えていくため、東京都ではSTEM分野での女性活躍推進に向けて2022年度より女子中高生を対象にオフィスツアーを開始しました。年々参画企業数を増やしており、これまで18社で開催。合計定員844名に対し約1万件のご応募をいただいております。ニーズの高さを実感しています。今年度は、女子中高生の理系選択を支援する山田進太郎D&I財団と連携することで、参画企業50社以上に拡大し、より多くの機会を提供していきます。

・ツアー参加者のアンケート結果をご紹介します。参加者の97%がSTEM分野で働くイメージが伝わった、また、96%の方が将来の参考になったと回答しております。また、ツアー参加前と後でSTEM分野で働きたいと思う方が55ポイントもアップしており、直接体験する機会の大切さを実感しています。

・東京都はさらに取り組みを加速させるため、山田進太郎D&I財団と連携することでSTEMの体験機会を増やし、女性活躍のフィールドをもっともっと広げていきたいと考えています。

●（公財）山田進太郎D&I財団 事業概要

・日本におけるSTEM理工系分野のジェンダーギャップに着目し、2035年までに大学入学者におけるSTEM学部の女性比率を28%まで引き上げることを目標に活動しています。冒頭に説明があったとおり、STEM分野の女性人材の不足の背景としまして、大学でSTEM学部を専攻する女性の割合が少ないこと、さらには中高の時の文理選択において理系を選ぶ女性の割合が低いことに着目し、文理選択よりも前のタイミングで、中高生女子がSTEMの学びや仕事を実際に体験し、そして女性のロールモデルに触れることができる機会として、Girls Meet STEM事業を2024年度から開始しました。

Girls Meet STEMでのSTEMへの興味喚起を行い、そして設立当初から運営している奨学金との2つのアプローチで中高生女子の理系選択を支援しています。

・Girls Meet STEMは2024年6月に16社24大学の皆様とともにスタートし、全国の中高生女子を対象に多様なオフィスツアーや大学ツアーを全国各地で開催してきました。2024年度の活動としては、対面とオンラインで年間120回以上のツアーを開催し、ユニークで1864名の中高生女子の皆さんに全国の46都道府県からご参加をいただきました。

・実際に参加された方の声をご紹介します。

「働いている人のリアルな話が聞けて、理系もあると思えるようになりました」、「すごく格好よくて、私もこんなお仕事がしたいと思いました」といった関心の高まりであったり、「理系やITは自分には遠い世界だと思っていましたが、身近に感じられるようになりました」、「今苦手な科目があっても興味があるなら理系を選択していいと思えるようになりました」というような、実際にSTEM進路を選択することに対して自信がアップしたというような声もたくさんいただいています。

・Girls Meet STEM in TOKYOは、まず2025年度の夏休みに開催し、春休みにも開催する予定です。対象は都内在住在学の中高生女子です。実施形態はすべて対面で企業訪問や研究所の見学、そして女性のロールモデルとの座談会や体験型ワークショップなどを行います。対象のオフィスツアーは50社以上あります。IT、金融、製造、化学、食品、建設、保険など様々な業種の現場を体験見学し、STEMを活かして活躍する女性のロールモデルに触れることができます。

・財団は、企業への参画提案、ツアーの実施サポート、参加参加者の募集管理を行います。そして、東京都は、学校や区市町村、各種媒体を通じた募集広報や各ツアーの事後広報など、広報全般を担います。東京を第1号に、STEMの学びを全国へ、女性活躍の輪Women in Action、略して輪（WA）を旗印に、東京から日本全国の中高生女子に向けて、STEMの仕事学びに触れる機会を届けていきます。